

津地区の景況調査

平成22年下期実績と平成23年上期見通し
(平成23年1月調査)

津商工会議所・中小企業相談所

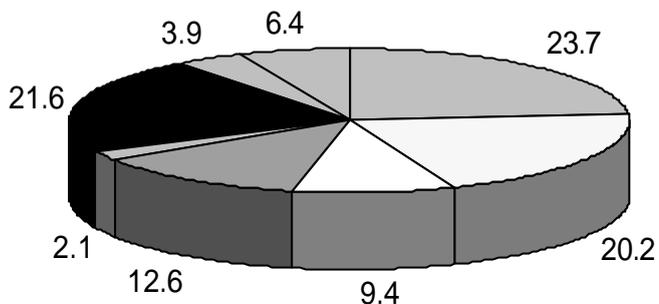
も く じ

調査概要	-----	1
調査結果	-----	4
1 現状と今後の見通し	-----	4
2 売上状況と来期の見通し	-----	7
3 売上の現状	-----	9
4 利益状況	-----	10
5 販売条件と仕入条件	-----	11
6 設備投資	-----	13
7 資金繰りの動向	-----	13
8 借入の動向	-----	15
9 借入予定と借入希望先	-----	15
10 経営上の問題点	-----	17
付帯調査 雇用の先行き見通し	-----	18
調査票	-----	19

回答状況

業種別回答比率

(単位：%)



- 製造業
- 建設業
- 卸売業
- 小売業
- 飲食業
- サービス業
- 交通運輸業
- その他の業種

業種別従業員規模

(単位：上段 - 企業数・下段 - %)

	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	計
全産業	201 46.2	126 29.0	55 12.6	25 5.7	28 6.4	435
製造業	33 32.0	27 26.2	20 19.4	9 8.7	14 13.6	103
建設業	44 50.0	34 38.6	4 4.5	5 5.7	1 1.1	88
卸売業	12 29.3	18 43.9	9 22.0	0 0.0	2 4.9	41
小売業	37 67.3	11 20.0	1 1.8	3 5.5	3 5.5	55
飲食業	5 55.6	2 22.2	1 11.1	1 11.1	0 0.0	9
サービス業	24 45.3	10 18.9	11 20.8	4 7.5	4 7.5	53
交通運輸業	2 11.8	5 29.4	6 35.3	2 11.8	2 11.8	17
その他の業種	15 53.6	7 25.0	3 10.7	1 3.6	2 7.1	28

全 産 業 D I

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
23年1月～6月見通し	46.7	29.6	-	-	-	20.9
22年7月～12月実績	40.3	22.7	32.2	28.1	24.2	19.6
22年1月～6月実績	54.3	39.4	43.0	38.7	28.1	22.3
21年7月～12月実績	60.3	57.1	52.8	51.8	27.7	32.2

産 業 別 D I (22年7～12月期)

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
製 造 業	33.0	17.5	8.7	20.4	25.2	15.6
建 設 業	54.6	29.6	38.6	39.7	22.7	28.3
卸 売 業	36.6	19.5	29.3	26.8	26.9	7.3
小 売 業	41.9	20.0	41.9	25.5	18.2	14.6
飲 食 業	66.6	22.2	77.7	22.2	55.5	44.4
サービス業	35.1	28.8	41.4	39.3	23.4	24.5

調査結果

1. 現状と今後の見通し(表-1、図-1・2参照)

平成21年上期調査より対象企業を小規模企業からFAX登録されている全会員企業に拡大実施。

(1) 現況

全産業の業況判断DIは、今期実績値40.3は前期54.3と比べ、14ポイントの改善となっており、前々期60.3と比較すると2期連続の改善傾向が読み取れる。改善幅は前回6ポイントであり、今回の14ポイントと大きく改善の推移である。小規模企業は改善幅が前回3.3、今回14.9ポイントと全体とほぼ同じ数値となっている。全体の業種別では製造業24.4ポイント、卸売業29.1ポイントと他の業種より回復幅が大きい。一方前回改善を見せた小売業は5.2ポイント悪化となっている。小規模企業では小売業は8.2ポイントと改善の動きを見せている。

(2) 今後の見通し

全産業の見通し判断DIは46.7と、今期の現状実績値40.3と比べ6.4ポイント減少と慎重な見通しを示している。現況では改善幅の大きかった製造業・卸売業ではマイナスの見通しが伺え、揺り戻しを示している。しかし、改善幅の少なかった建設業では現況54.6から44.4と10.2ポイント改善の見通しとなっている。

表-1 経営の現状と今後の見通し

	実績			来期の見通し
	21年7月~12月	22年1月~6月	22年7月~12月	23年1月~6月
全産業	60.3 66.0	54.3 62.7	40.3 47.8	46.7 50.7
製造業	65.6 69.4	57.4 70.0	33.0 46.8	43.7 55.0
建設業	67.0 69.8	62.3 65.0	54.6 52.5	44.4 44.9
卸売業	51.3 57.9	65.7 76.9	36.6 41.7	58.5 50.0
小売業	61.9 74.4	36.7 51.4	41.9 43.2	58.2 62.1
飲食業	58.8 54.6	80.0 77.7	66.6 80.0	44.4 60.0
サービス業	53.0 56.7	46.1 58.5	35.1 45.2	41.5 50.9

DI = 好転(高い)の割合 - 悪化(低下)の割合

はマイナス表示
下段DI値は小規模企業

	実 績			来期の見通し
	21年7月~12月	22年1月~6月	22年7月~12月	23年1月~6月
全 産 業				
製 造 業				
建 設 業				
卸 売 業				
小 売 業				
飲 食 業				
サ ー ビ ス 業				

DI = 好転(良い、やや良い)の割合 - 悪化(やや悪い、悪い)の割合 はマイナス表示

下段DI値は小規模企業

表内の景気天気図は各期ごとのDI値により表示



景気判断 DI

50以上100 25以上50未満 0以上25未満 25以上50未満 50以上100 100

図 - 1 津地区の経営の現状と見通し

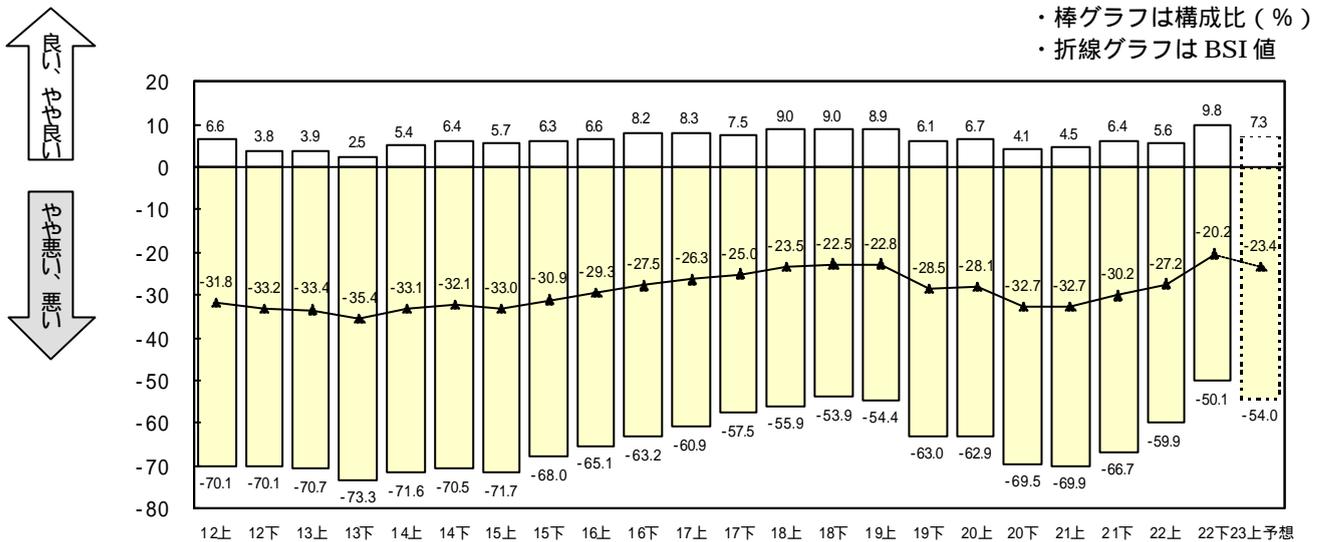
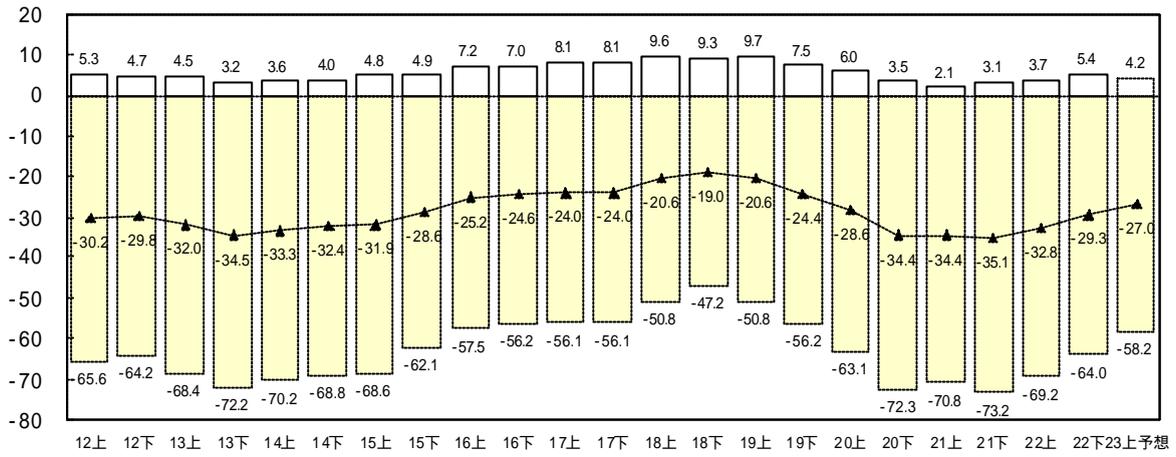
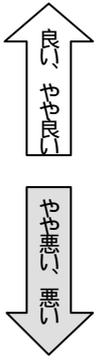


図 - 2 三重県下の経営現状と見通し

・棒グラフは構成比(%)
 ・折線グラフはBSI値



2. 売上状況と来期の見通し(表 - 2 参照)

(1) 今期の動向

全産業の売上DIは今期 22.7、前期 39.4 と比べ 16.7 ポイントの改善となった。前々期の改善幅 17.7 ポイントと比較するとほぼ同じ改善幅となった。業種別で見ると卸売業が今期 19.5、前期 54.2 と比べ 34.7 ポイントの改善となっており、全産業よりも高い水準で売上状況の改善が見られた。

(2) 今後の見通し

全産業の売上見通し判断DIは 29.6、今期の現状実績値 22.7 と比べ 6.9 ポイントのマイナス幅増加となった。業種別では、実績値では良好な数値を示していた卸売業・小売業はマイナス見通しを示し慎重な姿勢を見せているが、製造業・建設業はほぼ横ばいの見通しとなっている。

表 - 2 最近の売上と今後の見通し

	実 績			今後の見通し
	21年7月~12月	22年1月~6月	22年7月~12月	23年1月~6月
全 産 業	57.1	39.4	22.7	29.6
	59.6	45.9	35.8	42.3
製 造 業	62.5	29.3	17.5	18.5
	64.5	46.0	35.0	41.7
建 設 業	47.3	40.0	29.6	26.2
	50.0	40.3	33.4	26.9
卸 売 業	48.7	54.2	19.5	39.1
	52.6	61.6	33.3	50.0
小 売 業	69.8	34.7	20.0	41.8
	74.4	45.7	32.4	54.0
飲 食 業	64.7	80.0	22.2	33.3
	63.6	77.8	80.0	60.0
サービ業	53.0	37.1	28.8	36.1
	52.8	39.6	43.4	54.7

DI = 好転(高い)の割合 - 悪化(低下)の割合

はマイナス表示
下段DI値は小規模企業

	実 績			来期の見通し
	21年7月~12月	22年1月~6月	22年7月~12月	23年1月~6月
全 産 業				
製 造 業				
建 設 業				
卸 売 業				
小 売 業				
飲 食 業				
サ ー ビ ス 業				

D I = 好転（良い、やや良い）の割合 - 悪化（やや悪い、悪い）の割合 はマイナス表示

下段D I 値は小規模企業

表内の景気天気図は各期ごとのD I 値により表示

快晴 晴 くもり時々晴 くもり くもり時々雨 雨

景 気 判 断 D I

50以上100	25以上 50未満	0 以上 25未満	25以上 0 未満	50以上 25未満	100 50未満
---------	--------------	--------------	--------------	--------------	-------------

3. 売上の現状 (図 - 3・4 参照)

今期売上が増加した企業は全体で435企業中120企業27.6% (前期19.4%)、小規模企業では274企業中56企業20.4% (前期15.3%)。全体、小規模企業ともに増加となった。

一方、今期売上が減少した企業は435企業中219企業50.3% (前期58.6%)、小規模企業では274企業中154企業56.2% (前期60.8%)。全体、小規模企業ともに減少となった。

図 - 3 津地区の売上の現状と見通し

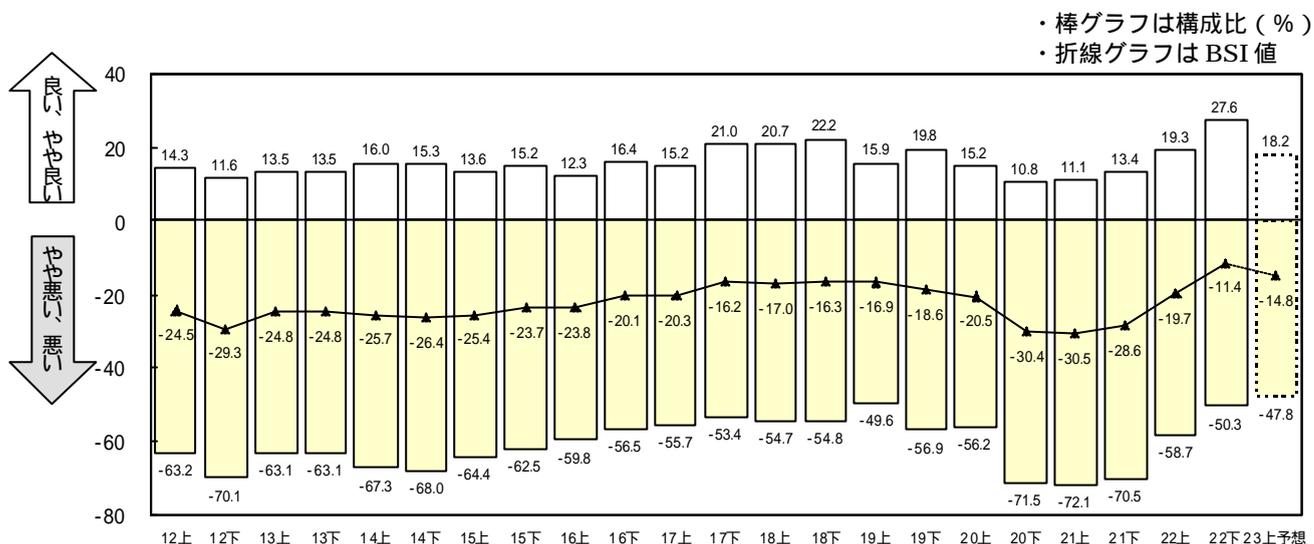
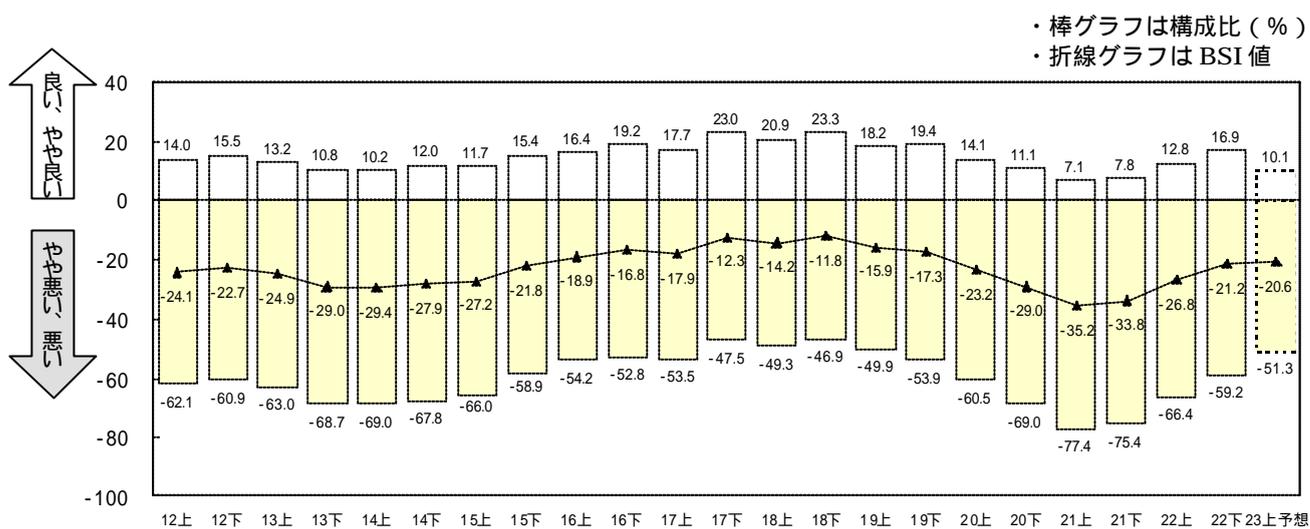


図 - 4 三重県下の売上の現状と見通し



4 . 利益状況 (表 - 3、図 - 5 参照)

全産業の利益判断DIは 32.2 と前期 43.0 に比べ 10.8 ポイント上昇した。業種別で見ると卸売業で 27.8 ポイント上昇、製造業で 25.4 ポイント上昇となっている。小規模企業で見ると卸売業が 35.9 ポイント改善と最も高い数値を示した。

表 - 3 利益状況

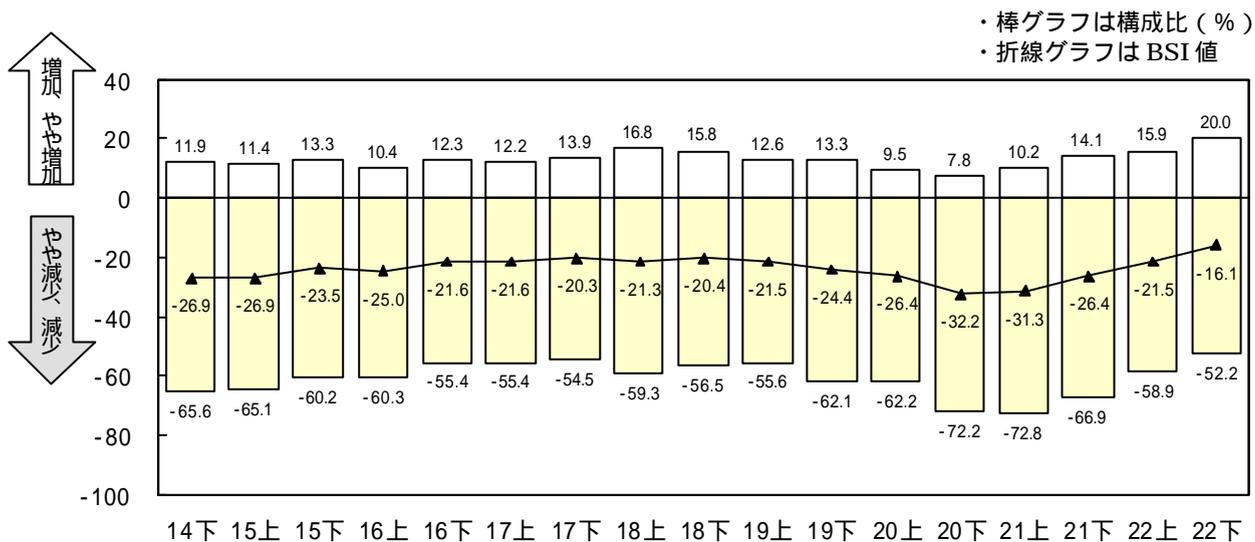
	実 績		
	21 年 7 月 ~ 12 月 期	22 年 1 月 ~ 6 月 期	22 年 7 月 ~ 12 月 期
全 産 業	52.8	43.0	32.2
	61.0	53.4	40.9
製 造 業	55.3	34.1	8.7
	64.5	58.0	26.7
建 設 業	64.2	43.4	38.6
	66.7	41.6	42.2
卸 売 業	56.4	57.1	29.3
	57.9	69.3	33.4
小 売 業	47.6	28.5	41.9
	60.4	45.7	43.2
飲 食 業	58.8	90.0	77.7
	54.6	88.9	100.0
サービ業	44.4	43.8	41.4
	52.8	56.6	52.8

DI = 好転 (高い) の割合 - 悪化 (低下) の割合

はマイナス表示

下段 D I 値は小規模企業

図 - 5 利益状況



5 . 販売条件と仕入条件

(1) 販売条件 (表 - 4、図 - 6 参照)

全産業の販売条件判断DIは 28.1 と前期 38.7 に比べ 10.6 ポイント上昇となった。業種別で見ると卸売業で 24.5 ポイント上昇と他の業種より高い数値を示した。卸売業は小規模企業でも同様の動きを示している。

表 - 4 販売条件

	実 績		
	21 年 7 月 ~ 12 月 期	22 年 1 月 ~ 6 月 期	22 年 7 月 ~ 12 月 期
全 産 業	51.8	38.7	28.1
	53.6	39.2	34.3
製 造 業	54.2	39.0	20.4
	61.3	46.0	33.3
建 設 業	56.2	37.6	39.7
	56.2	37.7	39.7
卸 売 業	51.2	51.3	26.8
	47.4	38.5	16.6
小 売 業	58.7	18.3	25.5
	65.2	28.5	32.4
飲 食 業	47.0	60.0	22.2
	36.4	55.5	40.0
サ ー ビ ス 業	46.0	46.1	39.3
	43.4	45.3	39.5

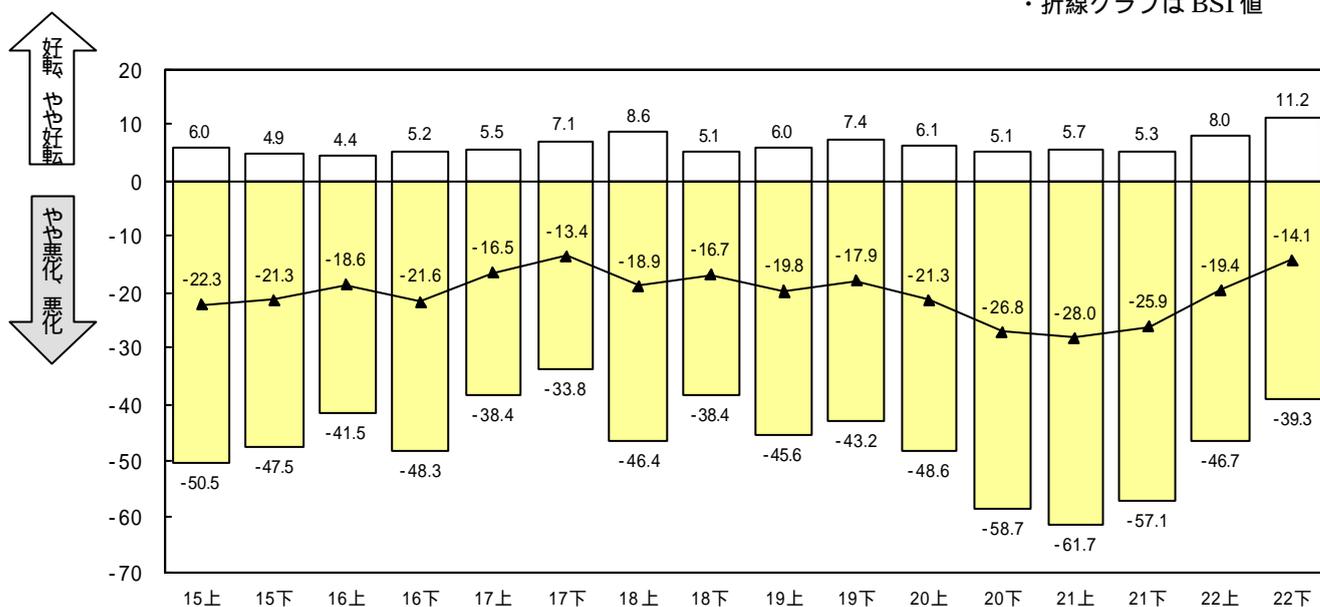
DI = 好転 (高い) の割合 - 悪化 (低下) の割合

はマイナス表示

下段()内DI値は小規模企業

図 - 6 販売条件

- ・棒グラフは構成比 (%)
- ・折線グラフはBSI値



(2) 仕入条件 (表 - 5、図 - 7 参照)

全産業の仕入状況判断DIは 24.2 と前期 28.1 に比べ 3.9 ポイント上昇となった。業種別で見ると上昇を示したのは卸売業の 10.2 ポイント、横ばいはサービス業 1.2 ポイント、下降を示したのは小売業 3.9 ポイントとなっている。しかし小規模企業では卸売業は 1.2 ポイント、サービス業 5.6 ポイント悪化と全体とは逆の数値を示す結果となった。

表 - 5 仕入条件

	実績		
	21年7月～12月期	22年1月～6月期	22年7月～12月期
全産業	27.7	28.1	24.2
	28.3	28.2	26.6
製造業	22.9	32.9	25.2
	29.1	36.0	31.7
建設業	33.9	30.7	22.7
	33.3	29.9	23.0
卸売業	28.1	37.1	26.9
	26.4	15.4	16.6
小売業	22.2	14.3	18.2
	25.6	19.9	24.3
飲食業	17.7	40.0	55.5
	()	33.3	40.0
サービス業	29.0	24.6	23.4
	20.7	26.4	32.0

DI = 好転 (高い) の割合 - 悪化 (低下) の割合

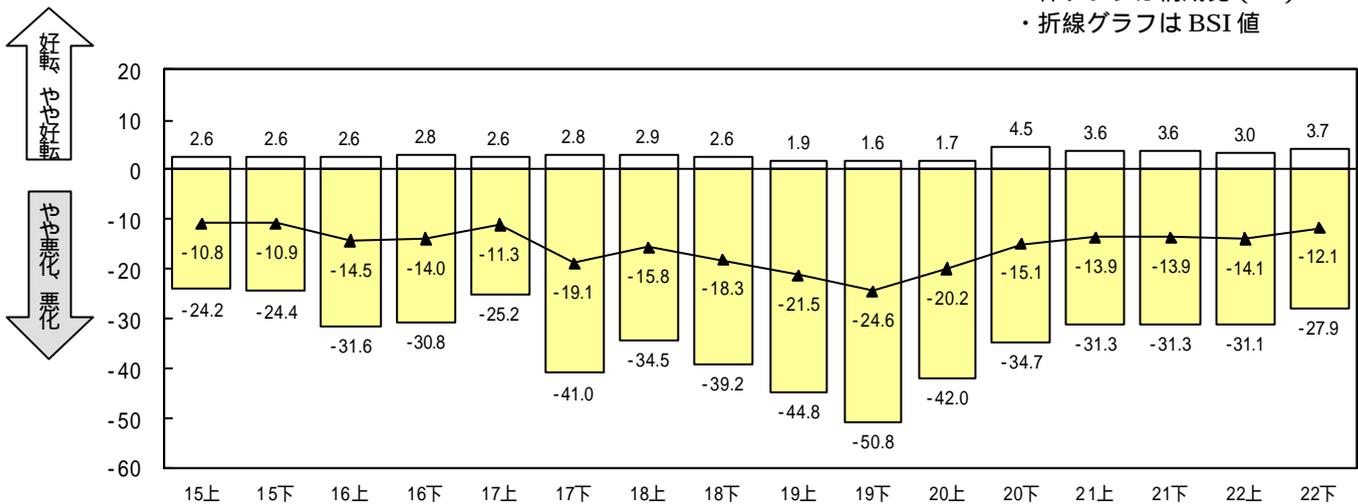
はマイナス表示

下段DI値は小規模企業

図 - 7 仕入条件

・棒グラフは構成比 (%)

・折線グラフはBSI値



6 . 設備投資（表 - 6 参照）

（1）今期の動向

今期設備投資を実施した企業は、435 企業中 116 企業 26.7%と前期 19.6%と比べ、7.1 ポイントの増加となった。業種別では製造業では 16.4 ポイントの増加を示している。その他の業種ではほぼ横ばいとなった。小規模企業で見ても同様の傾向を示している。

（2）来期の計画

全産業中、来期設備投資を予定している企業は435企業中97企業22.3%と今期実績値26.7%に比べ4.4ポイント減少する見込となっている。業種別では横ばい、もしくは減少の見込である。

表 - 6 設備投資実施企業割合

（単位：％）

	実 績			来期計画
	21 年 7 月～12 月期	22 年 1 月～6 月期	22 年 7 月～12 月期	23 年 1 月～6 月期
全 産 業	21.7	19.6	26.7	22.3
	15.2	13.3	16.8	14.6
製 造 業	28.1	24.4	40.8	35.0
	21.0	20.0	26.7	18.3
建 設 業	12.5	14.1	14.8	15.9
	10.4	14.3	12.8	12.8
卸 売 業	20.5	17.1	24.4	14.6
	5.3	0.0	0.0	8.3
小 売 業	19.0	14.3	20.0	16.4
	11.6	5.7	10.8	5.4
飲 食 業	35.3	10.0	55.6	33.3
	36.4	11.1	40.0	20.0
サービス業	24.0	22.5	25.5	19.1
	18.9	15.1	20.8	17.0

下段の値は小規模企業

7 . 資金繰りの動向（表 - 7、図 - 8 参照）

（1）今期の動向

全産業の今期の資金繰り判断 D I は 19.6と前期 22.3に比べ2.7ポイントの改善となった。昨年同期の改善幅9.7と比較すると小幅な改善に留まっている。業種別で見ても同様の傾向を示している。

（2）来期の見通し

全産業の来期資金繰り判断 D I は 20.9と今期実績値 19.6に比べ、1.3ポイント減少の見通しで、横ばいの数値と言える。

表 - 7 資金繰り

	実 績			来期見通し
	21年7月～12月期	22年1月～6月期	22年7月～12月期	23年1月～6月期
全産業	32.0	22.3	19.6	20.9
	38.2	31.3	24.5	24.8
製造業	32.3	20.6	15.6	13.6
	43.5	38.0	20.0	21.7
建設業	41.1	28.2	28.3	22.7
	42.7	29.9	30.7	25.6
卸売業	15.3	2.9	7.3	14.7
	21.1	15.4	16.7	25.0
小売業	26.9	18.3	14.6	20.1
	27.9	25.7	16.2	16.2
飲食業	58.8	70.0	44.4	55.5
	54.6	66.6	80.0	60.0
サービス業	31.0	22.5	24.5	24.5
	39.7	28.2	26.4	26.4

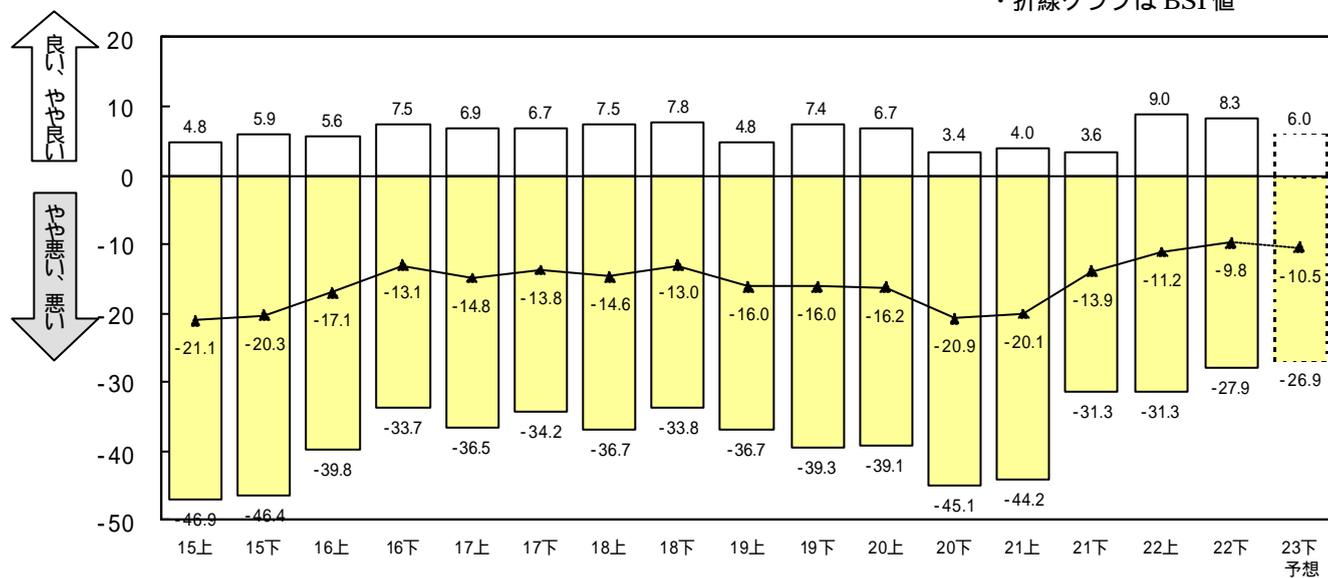
DI = 好転（高い）の割合 - 悪化（低下）の割合

はマイナス表示

下段DI値は小規模企業

図 - 8 資金繰りの現状と見通し

- ・棒グラフは構成比（％）
- ・折線グラフはBSI値



8. 借入の動向（表 - 8 参照）

全産業の借入難易度判断DIは10.6と前期6.2に比べ4.4ポイントの改善となった。業種別では、昨期は容易さが増した建設業では今期は6.4と11.0ポイント悪化傾向を示した。またサービス業でも8.4ポイント悪化した。その他の業種は改善または横ばいの状況を示している。

表 - 8 借入の難易度

	実 績		
	21年7月～12月期	22年1月～6月期	22年7月～12月期
全 産 業	3.0 2.1	6.2 1.0	10.6 2.4
製 造 業	12.2 9.1	6.6 3.8	20.0 9.4
建 設 業	3.3 8.3	4.6 0.0	6.4 7.3
卸 売 業	0.0 28.6	23.5 20.0	30.8 0.0
小 売 業	21.2 33.3	16.7 12.5	16.7 6.3
飲 食 業	14.3 25.0	50.0 0.0	20.0 100.0
サービス業	11.1 31.9	2.5 17.4	10.9 0.0

DI = 好転（高い）の割合 - 悪化（低下）の割合

はマイナス表示

下段の値は小規模企業

9. 借入予定と借入希望先（図 - 9 参照）

全産業中、来期に借入を予定している企業は435企業中108企業で全体の24.8%、前期21.5%となり、借入希望は微増状況である。業種別で見てもどの業種も前期より借入予定の割合は増加している。

借入希望先では、全産業の民間金融機関希望は70.4%と前期69.1%と比べほぼ横ばいとなっている。建設業では、公的金融機関から借り入れるとした割合を昨期より増加させた。

資金用途では運転資金は81.5%（昨期76.5%）、設備資金15.7%（昨期22.2%）となっており、運転資金需要の高まりを示していると言える。

図 - 9 - 借入予定

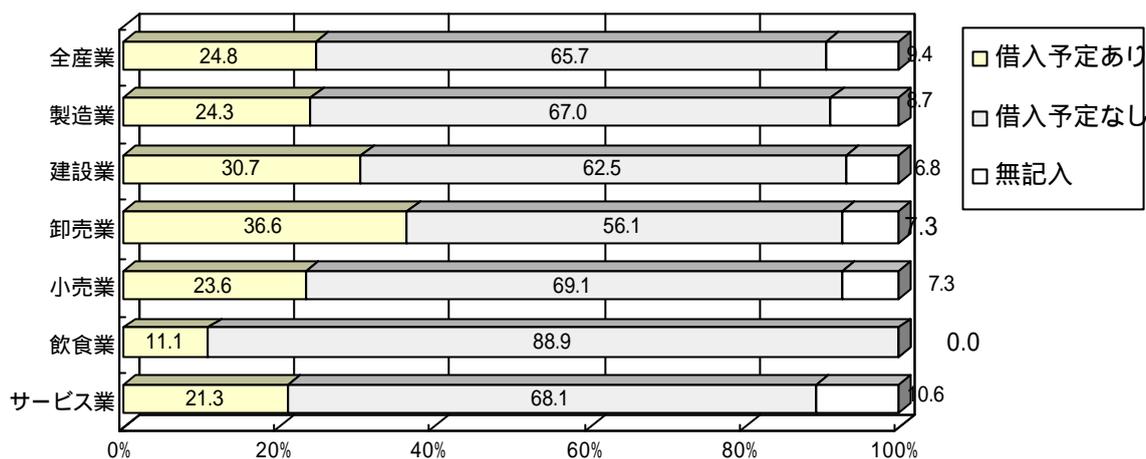


図 - 9 - 借入希望先

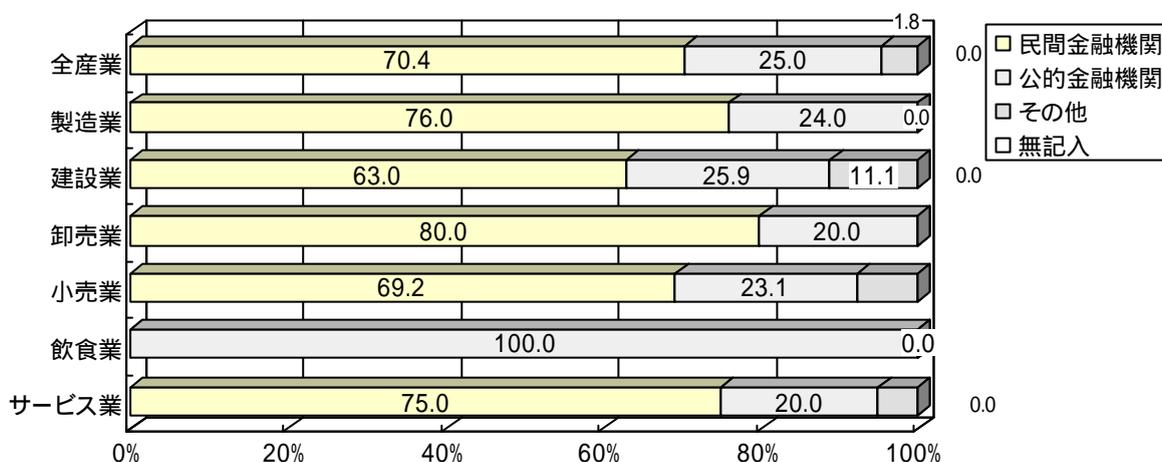
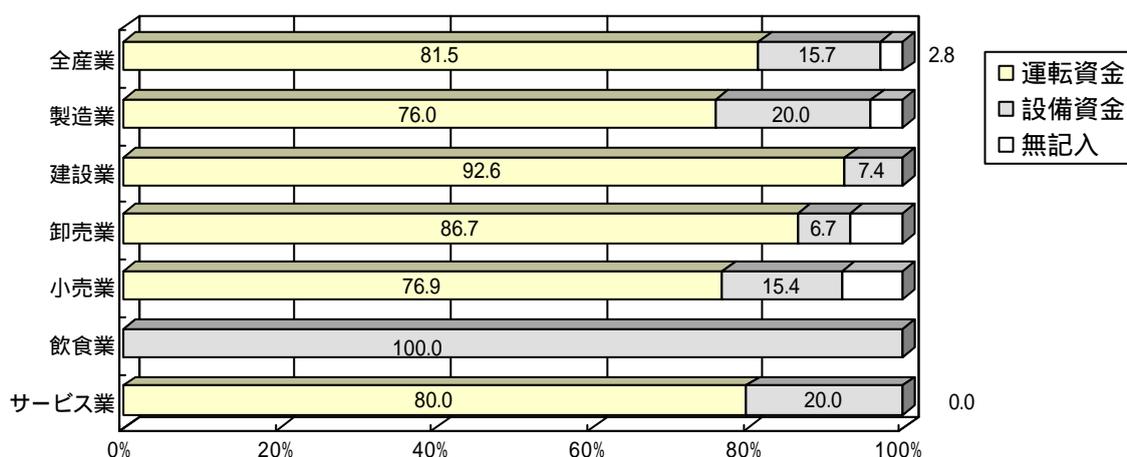


図 - 9 - 借入資金の使途予定



10. 経営上の問題点（3項目まで選択）（図 - 10、表 - 9 参照）

全産業の経営上の問題点は1・2位は16期連続で「売上・受注の停滞・減少」、「競争激化」となり、3位は昨期に引き続き「製品・商品の単価の下落」となった。1位の「売上・受注の停滞・減少」はその比率を下げているのに対して、2位の「競争激化」は比率を上昇させている。

業種別で見ると卸売業を除き、「売上・受注の停滞・減少」が1位となっている。飲食業を除き、その他の業種は「競争激化」の比率が高くなってきている。

図 - 10 全産業・経営上の問題点

（単位：％）

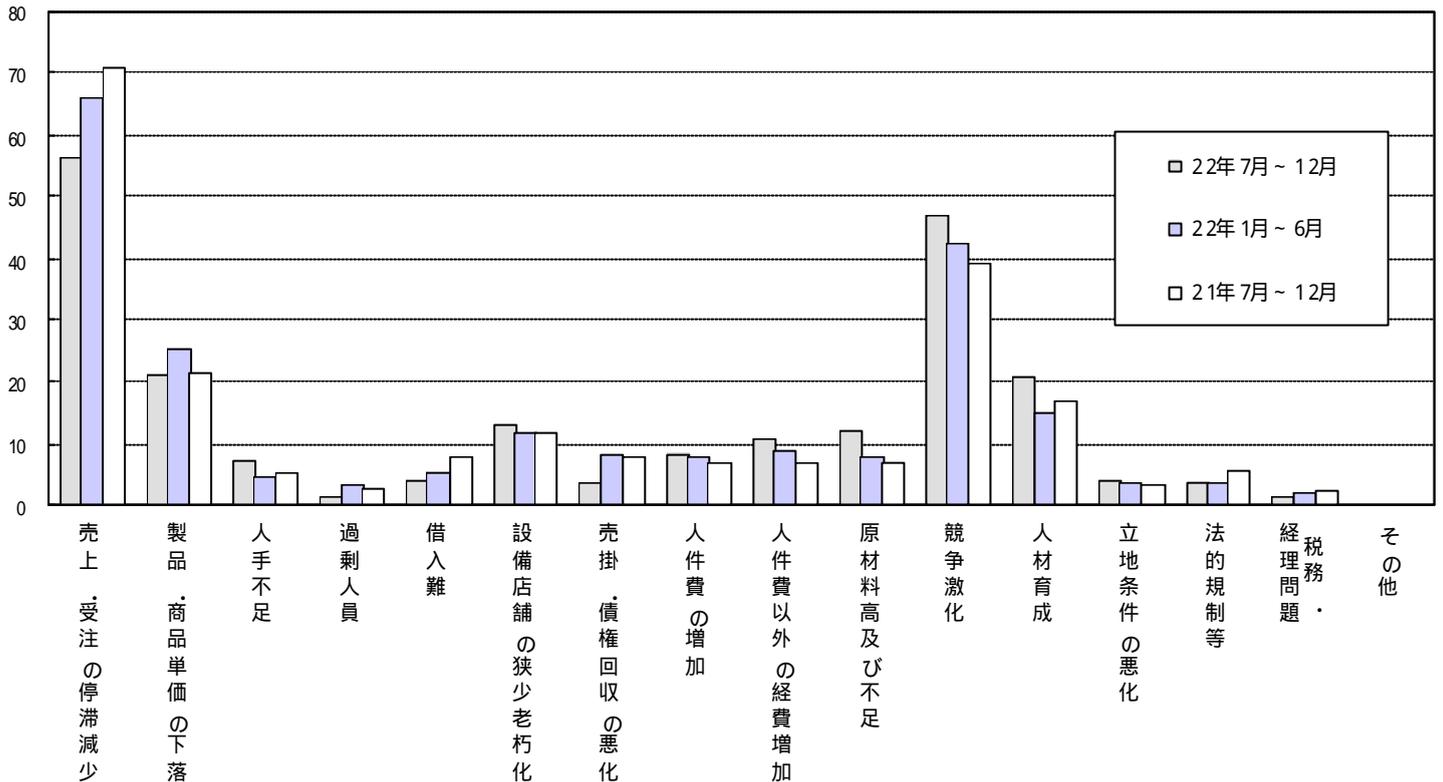


表 - 9 産業別・経営上の問題点

(単位：%)

順位 産業		22年 1月～6月期			22年 7月～12月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
産 業 別	全産業	売上・受注の 停滞減少 65.8	競争激化 42.4	製品・商品 単価の下落 25.5	売上・受注の 停滞減少 56.3	競争激化 46.7	製品・商品 単価の下落 21.1
	製造業	売上・受注の 停滞減少 72.0	製品・商品 単価の下落 42.7	競争激化 30.5	売上・受注の 停滞減少 56.3	競争激化 39.8	製品・商品 単価の下落 27.2
	建設業	売上・受注の 停滞減少 74.1	競争激化 51.8	製品・商品 単価の下落 23.5	売上・受注の 停滞減少 64.8	競争激化 60.2	製品・商品 単価の下落 20.5
	卸売業	売上・受注の 停滞減少 82.9	競争激化 68.6	製品・商品 単価の下落 31.4	競争激化 70.7	売上・受注の 停滞減少 51.2	製品・商品 単価の下落 24.4
	小売業	売上・受注の 停滞減少 59.2	競争激化 40.8	人材育成の 悪化 18.4	売上・受注の 停滞減少 61.8	競争激化 41.8	製品・商品 単価の下落 27.3
	飲食業	売上・受注の 停滞減少 70	競争激化 30	設備店舗の 狭小老朽化 30	売上・受注の 停滞減少 66.7	競争激化 33.3	設備店舗の 狭小老朽化 22.2
	サービス業	売上・受注の 停滞減少 47.2	競争激化 39.3	製品・商品 単価の下落 20	売上・受注の 停滞減少 52.1	競争激化 45.7	製品・商品 単価の下落 20.9

付帯調査 雇用の先行き見通しについて

今回付帯調査項目として、「雇用の先行き見通しについて」を追加し、調査を行った。その結果によると、もっとも多い回答は「現状維持」70.6%、次いで「人材がいない」12.0%、「給与の削減」4.8%、「人員削減」4.6%という順となった。

(P.19 調査票は別紙参照)

津地区の景況調査 57

平成23年3月発行

編集 津商工会議所・中小企業相談所

発行 津商工会議所

(本所)

〒514-0033 津市丸之内29-14

TEL 228-9141 FAX 228-7317

(久居支所)

〒514-1135 津市久居本町1347-1

TEL 255-2343 FAX 256-3665